

2 0 2 5 年度事業計画

2 0 2 5 年 3 月
東葉高速鉄道株式会社

2025年度 東葉高速鉄道事業計画

当社は、地域に密着し地域と共に歩む鉄道として、開業以来、安全・正確・快適な輸送サービスの提供と健全経営の確立に努め、運転無事故記録を継続してまいりました。

しかしその一方で、経営面においては、依然として多額の有利子負債を抱え、自立経営に向けた不断の努力を強く求められておりますが、昨今の物価上昇等の影響を受け、今もなお厳しい経営状況が続いています。

このような情勢下において、コロナ禍により変容した鉄道需要や社会経済情勢の変化などを見極めつつ、当社が抱える経営課題に対応し、持続可能な経営基盤を構築していくため、2025年度から2027年度を計画期間とした「第8次経営改善計画」を策定しました。

2025年度の事業実施にあたっては「第8次経営改善計画」に基づき、鉄道事業者としての最大の使命である輸送の安全確保に最大限努めるとともに、定期外旅客や関連事業収入の需要喚起策及び経費節減策を進め、早期の自立経営の確立を目指して、経営基盤の強化を図ってまいります。

1. 輸送の安全確保

鉄道事業者として最大の使命である輸送の安全を確保し開業以来の運転無事故記録を継続すべく、開業から30年が迫り経年劣化が進む施設・設備について、健全度を踏まえ計画的な保守管理および更新を行うとともに、メンテナンスの省力化、安全性の向上を図ります。

また、自然災害や犯罪行為への対応も含めた安全・危機管理体制の強化を図ります。

- (1) 切迫する首都直下地震などに備えるため高架橋の耐震補強を推進します
- (2) 故障による設備点検への影響を未然に防ぐため、老朽化した工事用車両の更新を進めます
- (3) 施設・設備を健全に維持するためレール、車両および電気設備などの点検・整備を定期的に行います
- (4) 経年劣化が進む駅設備や2000系車両の転落防止幌の更新など、適切な維持管理を図り安全の確保に努めます
- (5) 事故や災害など、異常が発生した際に迅速かつ的確に対応するために、各種訓練を実施し、社員の対応力強化を図ります

2. サービスの向上

あらゆるお客様が安心して、より快適で便利に当社線をご利用いただける環境の整備を進めます。

- (1) 自動改札機の更新に合わせ、レイアウトの見直しを行い、駅の利便性向上を図ります
- (2) お客様が、より一層安心・快適にご利用いただけるよう、社員のスキルアップ研修を計画的に進めます
- (3) 当社公式サイトなどから寄せられる「お客さまの声」を反映したサービス改善に努めます

3. 経営基盤の強化

運輸収入等の増収に向けた鉄道利用の促進や関連事業収入の確保を進めるとともに、輸送の安全確保を前提とした上でのコストの縮減を図る一方で、事業を継続していく上で土台となる人材の確保をはじめとした組織体制の整備・構築を進めます。

- (1) 新たな需要の創出を目的としたお得な企画乗車券を販売し、定期外旅客の利用拡大に努めます
- (2) 未利用の高架下区画の新規貸付や駅構内スペースを活用した出店催事の誘致に向けた取組により関連事業収入の確保を目指します
- (3) 沿線情報誌の配布やホームページ・SNSなどを活用し、沿線地域の魅力発信に努めます
- (4) 必要不可欠な事業の計画的な実施を図るとともに、事業の優先順位や効果を見極め、コストの縮減に努めます
- (5) 将来に渡り安定した鉄道サービスの提供を維持していくために、経験を有する人材がさらに意欲をもって働き続けられる制度の見直しに向けた検討を進めるほか、より働きやすい環境を整えることで社員のモチベーション向上を図ります

4. 地域との共存共栄

地元関係者との連携を図りながら、沿線の自然や観光資源を活用したイベント開催などを通じて地域の魅力を積極的に情報発信するとともに、賑わい空間の創出や新たなまちづくりに協力します。

- (1) 「東葉健康ウォーク」「東葉車両基地まつり」などのイベントを通じて地域交流を図ります
- (2) 2026年4月に開業30周年を迎えることから、記念事業の実施に向けた準備を進めます
- (3) イベントを含む地域活動への参加を通じて、地域のにぎわい創出に貢献します
- (4) 海老川上流地区土地区画整理事業の施行と合わせ、東海神駅・飯山満駅間において船橋市からの請願駅である海老川新駅（仮称）の設置に向けた工事を進めます

損益収支予算

(単位：百万円)

区 分			予算額
経 常 損 益	営 業 損 益	営 業 収 益	16,481
		旅客運輸収入	15,950
		運 輸 雑 収	531
		営 業 費 用	13,683
		営 業 費	9,135
		減価償却費	4,548
		営 業 利 益	2,798
	営 業 外 損 益		△ 1,131
	経 常 利 益		1,667
特 別 損 益			102
法 人 税 等			549
法人税等調整額			△ 7
当期純利益			1,226

※記載金額は各項目別に四捨五入して表示

設備投資予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	備 考
安全対策	2,603	信号保安設備更新 他
サービス向上対策	599	自動改札機更新、PASMO関連改修 他
その他	1,909	海老川新駅設置工事 他
合 計	5,111	